

2007年度の活動報告と2008年度の活動予定

2008年3月15日

産学連携分科会 オーガナイザー

長壁健

鈴木睦昭

杉浦美紀彦

林聖子

矢上清乃

2007年度の活動報告

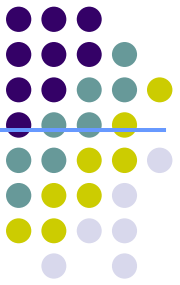
※=全体セッションの時間帯で開催

◎=知財キャリア分科会との合同開催



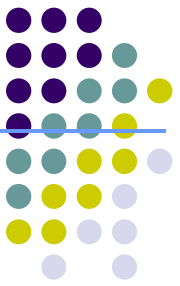
月	開催内容	ゲスト (招聘する場合)	カテゴリー	担当 Organizer	
4月	コミュニティ型産学連携	柴田 有三 氏 NPO法人KGC 理事長	<ul style="list-style-type: none"> ●コーディネーター ●ネットワークカー 	林	
5月	医薬品・バイオ産業の新時代への提案	大野 一樹 氏 アステラス製薬 研究員	産	<ul style="list-style-type: none"> ●大企業 	林
6月	事業をつくるということ ◎	若林拓朗 氏 先端科学技術エンタープライズ 代表取締役社長	産	<ul style="list-style-type: none"> ●ベンチャーキャピタル 	林
7月	海外で大学発ベンチャーを立ち上げるといこと ◎	栗林 香織 氏 東京大学 生産技術研究所 マイクロメカトロニクス国際センター、(独)日本学術振興会 特別研究員SPD	学	<ul style="list-style-type: none"> ●研究者 ●ベンチャー 	長壁
10月	大学発VBのこれから	重松 誠 氏 先端フォトニクス株式会社代表取締役社長	産	<ul style="list-style-type: none"> ●ベンチャー 	林
11月	医師、弁理士から見た産学連携 ◎	越智 豊 氏 越智国際特許事務所 所長／北摂中央病院 院長		<ul style="list-style-type: none"> ●特許事務所 ●医師 	長壁
12月	知財開発ファンドにおける知的財産の事業化について ※	山口 泰久 氏 知財開発投資株式会社 取締役・ジェネラルパートナー	産	<ul style="list-style-type: none"> ●知財ファンド 	杉浦
1月	起業するまでのキャリア形成と起業に必要な力とは？ ◎	松澤 斉之 氏 株式会社フロイデ 代表取締役社長	産	<ul style="list-style-type: none"> ●ベンチャー 	長壁
2月	産学連携にかける青春	鈴木 睦昭 氏 国立遺伝学研究所	官	<ul style="list-style-type: none"> ●コーディネーター 	鈴木

2007年度の方針、進め方

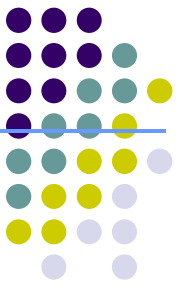


- 講演テーマの方針案
 - 現場に役に立つスキルアップシリーズ
 - 産学連携トピックス

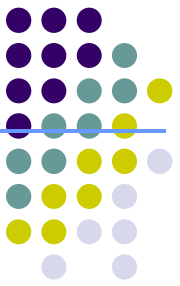
- 分科会開催時間
 - 17:00～18:30



- **スピーカー：山口 泰久 氏 (Yasuhisa Yamaguchi)**
知財開発投資株式会社 取締役・ジェネラルパートナー
- **演題：「知財開発ファンドにおける知的財産の事業化について」**
- **ご講演内容**
 - 現在の知的財産を取り巻く環境
 - 活用されていない特許
 - 大学における特許出願状況
 - 知財事業化における最大の課題は？
 - 米国の事例：UCSD-CONNECT ～産学官+金のネットワークが不可欠～
 - 欧州の事例：LEUVEN ～ファンド、大学・研究所を中心に展開するネットワーク、IMEC～
 - 知財事業化のために大学・研究所ができること
 - 知財開発投資株式会社における知財事業化投資について
 - 知財開発ファンドの基本コンセプト① 知財カーブアウト
 - 知財開発ファンドの基本コンセプト② バリュアアップ
 - 知財開発投資の特徴・強み ～幅広いネットワーク、知財棚卸、投資判断ノウハウ、特許ベータベース、 専門家による評価、販売・マーケティング支援、経営・財務支援、特許ポートフォリオの構築、R&D戦略構築支援
 - 知財開発投資の知財評価・投資判断プロセス ～(1)特許情報解析・格付け、(2)技術評価レポート、(3)市場性・事業計画評価～



- **スピーカー：栗林 香織 氏**
東京大学 生産技術研究所 マイクロメカトロニクス国際センター
(独)日本学術振興会 特別研究員SPD
- **演題：「海外で大学発ベンチャーを立ち上げると言うこと」**
- **ご講演内容：**
 - 海外での大学発ベンチャー設立の経緯
 - 英国オックスフォード大学における、折り紙の折りたたみを利用したステントグラフトの研究開発と大学発ベンチャー企業の設立
 - イギリスの学生の企業立ち上げへの意識
 - 起業家クラブ (Oxford Entrepreneurs Society) での経験より
 - 特許、会社設立の勉強会、ネットワークのための交流会や講演会などを主催
 - 勉強会・交流会を通して、VCから投資を受けて起業をする学生
 - 寄宿舎での異分野の学生との交流による視野の広がり
 - 知財キャリア分科会のゲストスピーカーとパネルディスカッション



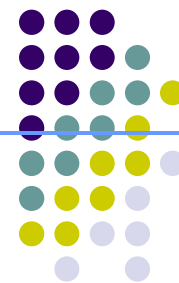
- **スピーカー：越智 豊 氏**

越智国際特許事務所 所長／北摂中央病院 院長

- **演題：医師、弁理士から見た産学連携**

- **ご講演内容：**

- 医業にとっての知財とは？
- 知財にとっての医業（医療行為）とは？
- キャリア形成
 - マルチメジャー、ネットワーク形成
- 産学連携の現状に対する課題、将来への期待
- 創薬、医療機器、承認制度における日米の比較



- **スピーカー: 松澤 齊之 氏**

株式会社フロイデ 代表取締役社長

- **演題: 「起業するまでのキャリア形成と起業に必要な力とは？」**

- **ご講演内容:**

- **アタッカーズ・ビジネススクール での経験**

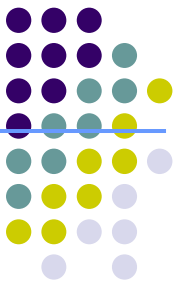
- 起業家育成カリキュラム構築
- コーポレートアントレプレナー育成の事業化

- **起業家となって**

- 経緯、経験、将来展望

- **Dream Bar**

- 「大人の秘密基地」: 紹介制bar～遊び道具は「酒」「事業プラン」「みんなの頭脳」



- **スピーカー：鈴木睦昭** (Mutsuaki Suzuki)

国立遺伝学研究所 知的財産室 室長

- **演題：「産学連携にかける青春」**

- **講演内容**

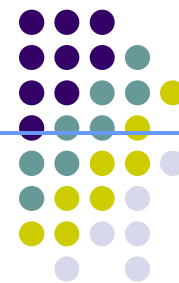
1. 産学連携の概要
2. 自己紹介と産学連携とのかかわり
3. 肌で感じる問題点、行っている活動

不実施補償

リサーチツール特許

- **現在の方針**

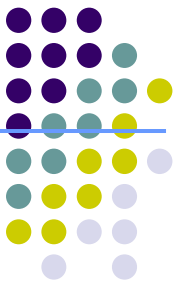
1. 地道に、シーズの発掘、特許の数はおわらない、情報発信を絶えず行う。
2. タフに企業とやりとり。
3. 長期的な視点で基盤システムが必要(基礎研究に対する知的財産マネジメント手法の開発が必要)



• **スピーカー: 柴田 有三 氏**
NPO法人KGC 理事長

演題: 「コミュニティ型産学連携」 **ご講演内容**

- ① 好奇心は生きるために必要か
- ② 会社(社会人)に好奇心は必要か
- ③ KGCは存続に不可欠な好奇心活動のサポートを担当
- ④ 空調のすごいビルをアフリカに建設?
- ⑤ 病院全体でリハビリ効果を高められたら
- ⑥ KGCはオリジナルのコンセプトを生み出す異分野融合の場(コミュニティ)をプロデュース
- ⑦ コミュニティにおけるコンセプト作り
- ⑧ 未来を創る研究者をサポートしたい
- ⑨ パトロンとは? → 研究者のパトロンとしてのKGC
- ⑩ 面白さで、みんなが群がって、お金の換わっていくような、コミュニティ間での取り組み



• **スピーカー:大野 一樹 氏**
アステラス製薬 研究員

演題:「医薬品・バイオ産業の新時代への提案」

ご講演内容

① コミュニティ:BLSの運営経験

- ・smipsから2001年にBLSが生まれた経緯
- ・BLSのOBOGのその後
- アカデミア、大企業、ベンチャー、NPO……等各分野で活躍
- 熱いコミュニティからは何かが生まれる

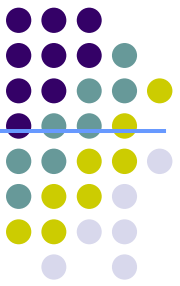
②境界を越えて:大企業とベンチャー企業

- ・産業(マクロ)、個人(ミクロ)にとっては、バイオベンチャーと製薬会社は実はあまり変わらない
- ・本物だけが生き残る時代→本質的な議論が大切に(HowではなくWhat)

③個人のカ

- ・核としての超大金持ち、研究資源へのアクセルが容易、ネットワーク社会
- ・個人の意思が世界を動かす

2007年度の活動報告 ～6月～



● **スピーカー: 若林 拓朗 氏**
先端科学技術エンタープライズ 代表取締役社長

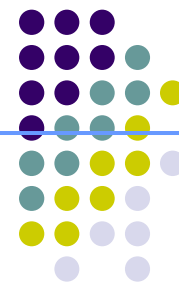
● **産学連携分科会・知財キャリア分科会合同**

● **演題: 「事業をつくるということ」**

ご講演内容

- ①事業をつくる
- ② ブルーオーシャン戦略 例)シルク・ド・ソレイユ
- ③ 手続と実質
- ④ キャリア
- ⑤ 大きな流れをつかむということ
- ⑥ 技術ベンチャーの位置づけ
- ⑦ 技術ベンチャーはおもしろい?
- ⑧ 成功と失敗の分かれ目
- ⑨ キャリアとしての技術ベンチャー
- ⑩ イノベーションとは
- ⑪ オープンイノベーション
- ⑫ 新しい動き (NineSigma他)
- ⑬ 地域におけるベンチャー
- ⑭ 価値という概念

2007年度の活動報告 ～10月～



・ **スピーカー:重松 誠 氏**
先端フォトニクス株式会社代表取締役社長

演題:「大学発VBのこれから」
ご講演内容

① **挑戦**

・これまでの経緯

② **組織**

- ・大学発ベンチャー調査レポート
- ・全国VBLフォーラム
- ・競争ルールの変化
- ・連携のスタイル
- ・大学発だけか
- ・三者(産学官)のながれ

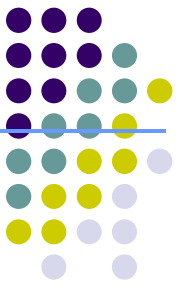
③ **個人**

- ・石の上にも3年か
- ・個人のライフプラン
- ・幸福の定義の変化
- ・リスクを避ける風土
- ・コズメツキー博士

④ **知識経済社会**

⑤ **VCの投資フロー**

⑥ **ご自分の経験、走りながらやってきたこと大切**



- **開催方針案**

ダイナミックに変化している産学連携を取り巻く社会環境、ビジネス環境、政策等を踏まえながら、その中で今、着目すべきトピック等を考える

- **講演テーマ案**

- 産学連携トピックス
- 現場に役に立つスキルアップシリーズ
- 産学連携に対する期待と現状、そして今後の展望、などなど

- **分科会開催時間**

- 17:00～18:30

A yellow speech bubble with a black outline, pointing towards the left. Inside the bubble, the text "分科会で検討中" is written in black.

分科会で
検討中